

よくある疑問Q & A

Q 1 福祉・介護分野の求人数は多いですか？

A 1 職種により違いはありますが、求人数は比較的多いです。

・看護師、介護福祉士などの国家資格の専門職は、多くの求人があります。国家資格の専門職以外では、ヘルパーや介護職員の求人が多い状況です。

Q 2 常勤（正職員以外）・臨時職員の求人が多いようですが、正規職員の求人は少ないですか？

A 2 正規職員の求人比べ、常勤（正職員以外）、契約職員での求人が多いのが現状です。

・正規職員等の非正規職員で採用後、勤務成績や国家資格を取得することで正規職員の登用する制度を設けている事業所もあります。応募する際は、正規職員以外の求人であっても、採用後に内部登用制度があるかを確認することが大切です。

Q 3 福祉・介護に関する資格や経験はありませんが、就職は可能ですか？

A 3 資格要件がある業務以外は、資格や経験に係らず採用の可能性はあります。

・介護支援専門員やヘルパーなど、担当する業務をおこなうにあたって資格要件がある職種での就職は困難ですが、介護員等資格要件がない職種については、すべての方に就職の可能性はあります。ただし、資格や経験のない方の転職は、福祉・介護の現場でも他分野同様に容易ではありません。

Q 4 ホームヘルパーの資格を取得しましたが、経験がないことを理由に採用されません。

A 4 経験がない方々の採用もありますので、経験だけが採用の判断ではありません。

・資格や経験が不問の求人もあり、実際に資格や経験がない方も採用されています。したがって、採用する側も資格や経験だけで採用を判断しているわけではなく、総合的な評価により採用を判断しています。もう一度、面接時の質問や回答事項を思い返してみてください。

Q 5 利用者の直接支援は自信がないので、運転手等、利用者を直接支援ない求人はありますか？

A 5 運転手等、利用者の直接支援をしない求人は少ない状況です。

・以前は、各施設に運転業務等を専門的に行う職員が配置され、運転手等の職員が募集されていましたが、現在は、介護員等、利用者の直接支援を行う職員が運転業務を行っている事業所等が多く、運転手等の職員を別途採用している施設・事業所等は少ない状況です。

Q 6 家族・子どもの都合で、夜勤ができなくても就職できますか？

A 6 デイサービスセンター等、夜勤がない職場もあります。

・福祉・介護分野は、非常に多くの職場があります。その中には、デイサービスセンター等、日中支援を中心として行っている職場も多くありますので、夜勤ができない方々はそのような求人を選んで応募することが可能です。